

研究員の眼

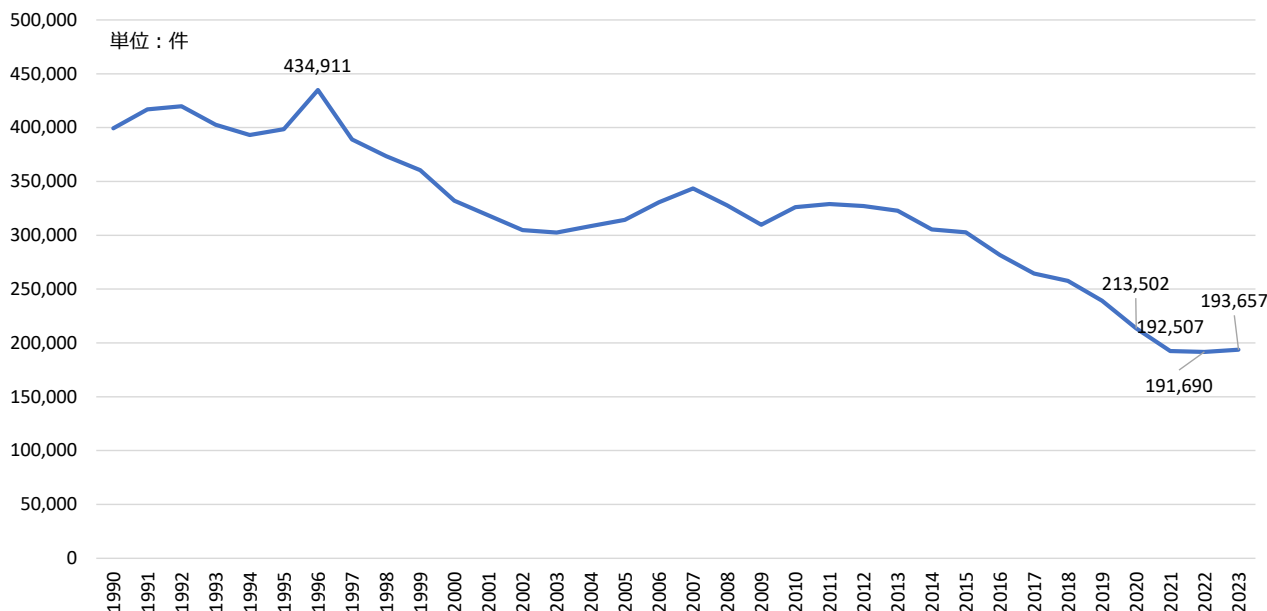
日韓カップルの増加は少子化に歯止めをかけるか？

生活研究部 上席研究員 金 明中
(03)3512-1825 kim@nli-research.co.jp

韓国の出生率が改善された理由は？

2024 年の韓国の出生率が改善された理由の一つは、2012 年以降減少していた婚姻件数が増加したことだ。韓国における婚姻件数は、1996 年に 434,911 件でピークに達した以降、減少傾向に変わり、新型コロナウイルスの感染が拡大された 2021 年には 192,507 件で初めて 20 万件を下回った。さらに、2022 年の婚姻件数は 191,690 件まで減少し、19 万人を切ることが懸念されたが、幸いに 2023 年の婚姻件数は 2022 年より 1,967 件増加した。

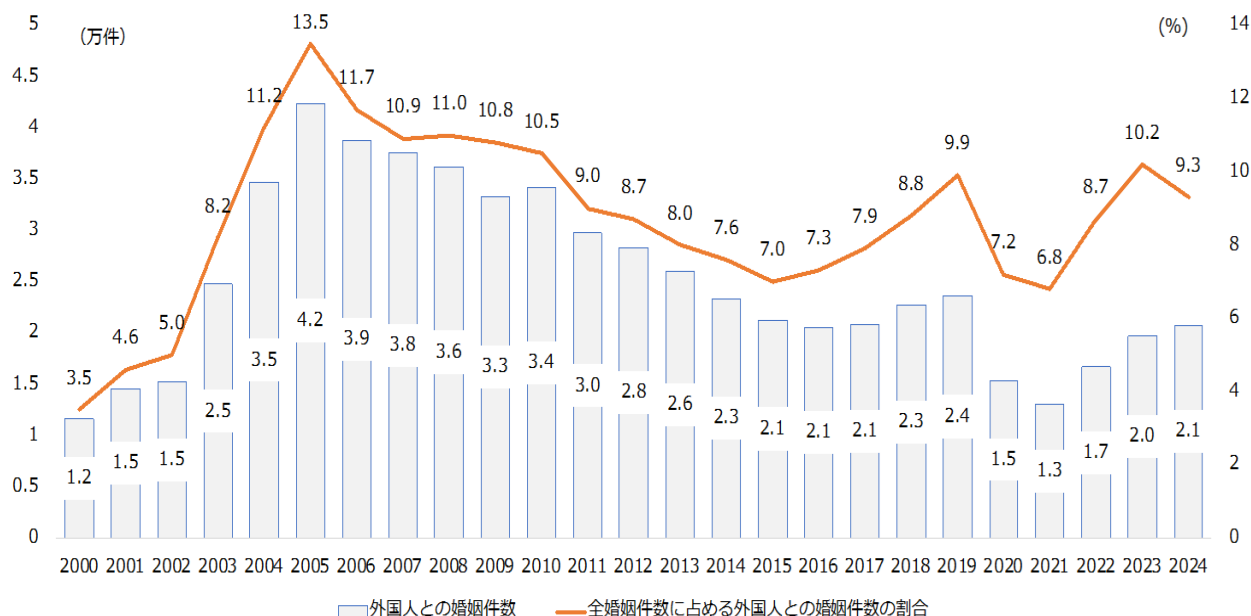
図表 1 韓国における婚姻件数の推移



出所) 韓国統計庁「2023 年婚姻・離婚統計」より筆者作成

特に、新型コロナウイルスの感染拡大以降、大きく減少していた外国人との婚姻件数が 2022 年以降再び増加し、2023 年にはコロナ禍下でボトムであった 2021 年と比べて約 3 万件も増加した。これは、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、外国人の韓国入国時の入国制限が緩和されたことが一因であると考えられる。

図表 2 韓国における外国人との婚姻件数の推移



出所) 韓国統計庁「2023 年婚姻・離婚統計」より筆者作成

韓国人男性と日本人女性の婚姻件数が急増

特に、注目したいのは韓国人男性と日本人女性の婚姻件数が最近大きく増加していることだ。2024 年の韓国人男性と外国人女性の婚姻件数は 15,624 件で、前年比 6.2%増加したが、特に韓国人男性と日本人女性の婚姻件数は 1,176 件と、1 年前と比べて 40%も増加した。偶然のことかも知れないが、日韓カップルの増減は日韓関係の影響を受けているように見える。

実際、日韓関係が悪くなかった文在寅（ムン・ゼイン）政権時代の 2019 年の韓国人男性と日本人女性の婚姻件数は 903 件で 2018 年の 987 件と比べて 9.3%も減少した。同時期の韓国人男性と外国人女性の婚姻件数が 6.5%増加したこととは反対の結果である。一方、新型コロナウイルス感染症が収束し、日韓関係が改善された尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権時代の 2024 年には、韓国人男性と日本人女性の婚姻件数が大きく増加した（韓国人女性と日本人男性の婚姻件数は少ない。）

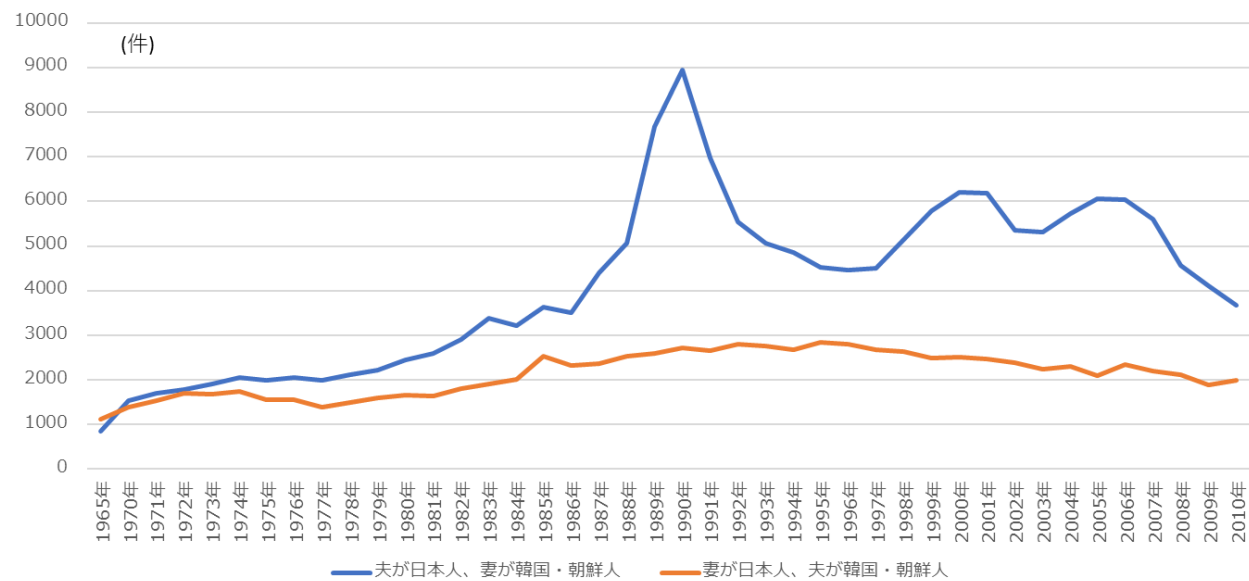
では、日本のデータはどうだろうか。日本政府の「人口動態調査・人口動態統計」によると、夫が日本人で妻が韓国・朝鮮人である婚姻件数は、1990 年の 8,940 件をピークに減少傾向にある。また、妻が日本人で夫が韓国・朝鮮人である婚姻件数も、1995 年の 2,842 件をピークに減少へと転じている。韓国とは対照的に、日本においては政治的な影響をあまり受けていない様子がうかがえる。

図表 3 韓国における韓国人の国籍別婚姻件数

(単位: 件, %)														対前年比		
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	構成比	増減数	増減率		
韓国男性+外国女性	16,152	14,677	14,822	14,869	16,608	17,687	11,100	8,985	12,007	14,710	15,624	100	914	6.2		
ベトナム	4,743	4,651	5,377	5,364	6,338	6,712	3,136	1,319	3,319	4,923	5,017	32.1	94	1.9		
中国	5,485	4,545	4,198	3,880	3,671	3,649	2,524	2,426	2,282	2,668	2,604	16.7	-64	-2.4		
タイ	439	543	720	1,017	1,560	2,050	1,735	1,589	1,932	2,017	2,143	13.7	126	6.2		
日本	1,345	1,030	838	843	987	903	758	723	599	840	1,176	7.5	336	40		
アメリカ	636	577	570	541	567	597	432	457	600	558	628	4	70	12.5		
フィリピン	1,130	1,006	864	842	852	816	367	260	509	629	605	3.9	-24	-3.8		
カンボジア	564	524	466	480	455	432	275	137	422	388	363	2.3	-25	-6.4		
その他	1,810	1,801	1,789	1,902	2,178	2,528	1,873	2,074	2,344	2,687	3,088	19.8	401	14.9		
韓国女性+外国男性	7,164	6,597	5,769	5,966	6,090	5,956	4,241	4,117	4,659	5,007	5,135	100	128	2.6		
アメリカ	1,748	1,612	1,377	1,392	1,439	1,468	1,101	1,276	1,380	1,386	1,479	28.8	93	6.7		
中国	1,579	1,434	1,463	1,523	1,489	1,407	942	777	750	921	905	17.6	-16	-1.7		
ベトナム	283	432	565	586	587	639	501	440	586	792	771	15	-21	-2.7		
カナダ	481	465	398	436	402	363	257	223	310	281	303	5.9	22	7.8		
オーストラリア	249	254	197	203	189	178	82	77	151	158	164	3.2	6	3.8		
イギリス	207	196	186	185	184	190	146	112	166	156	162	3.2	6	3.8		
その他	2,617	2,204	1,583	1,641	1,800	1,711	1,212	1,212	1,316	1,313	1,351	26.3	38	2.9		

出所) 韓国統計庁「2023 年婚姻・離婚統計」より筆者作成

図表 4 日本における日本人と韓国人の婚姻件数



出所) 総務省「人口動態調査・人口動態統計」より筆者作成

韓国人男性と日本人女性の婚姻件数が増えた理由は？

このようにここ 10 年でみた場合、韓国人男性と日本人女性の婚姻件数のみが増加していることが際立っているが、なぜこのような現象が生じているのだろうか。この点については、今後さらに詳細な分析が必要だが、日本のアニメなどのコンテンツや韓国ドラマ・K-POP の影響でお互いに親しみを感じたり、若者を中心に相互の行き来が増え相互理解が深まったことが要因のひとつとなっている

ことについては、まず疑いの余地はないだろう。

6月3日に行われる韓国の大統領選挙により韓国では新しい大統領が誕生することとなる。2025年は日韓国交正常化60周年にあたる年だ。この節目の年に新しい大統領には、日韓関係を重視し、両国の国民が自由に交流できる環境を維持するための外交政策を推進していただきたいと考える。

少子高齢化が進む日韓両国において、両国の国民が活発に交流することは、経済成長や出生率の改善などさまざまな面でプラスの効果をもたらす可能性が高い。友好的な外交政策を通じて、日韓両国が共に直面する社会的・経済的課題に対処し、互いに理解と協力を深めることは、両国の未来にとって不可欠であると言えるだろう。

本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。
また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。